

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 8月 11日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100256		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい戸坂		
所在地	広島県広島市東区戸坂大上3丁目2番30号 (電話) 082-229-2822		
自己評価作成日	令和5年6月21日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100256-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年8月4日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

地域の人との関わり合いを大切に入居者様が安心した日々の生活が送られるよう心身の観察を怠らず身体状態の把握に努めている。個々のケアプランに添い「その人らしい」生活を重視し全スタッフが情報を共有し支援を行っている。また家族様への連絡、報告も速やかに行っており、家族様よりのご希望に添った支援を行っている。医療との連携において入居者様の体調管理を行い体調不良の際は早期に医療に連絡、報告ができています。3ヶ月に一度事業所新聞を発行。町内掲示板に掲示し自施設の活動を情報発信している。今後は運営推進会議を開催、町内行事への参加等も積極的に行って行きたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所の母体は医療法人であり、終末期ケアに対する支援に尽力している。特にコロナ禍において利用者・家族に安心の医療・介護が提供できる様協力医療機関や法人内外の訪問看護等との連携構築に努めている。近親者には居室に入ってもらおう等、気持ちに寄り添った終末期ケアに取り組んでいる。コロナ禍により利用者の生活空間が狭まり、その閉じこもりがちな生活の中、役割・嗜好品・楽しみ事・気分転換等、張り合いや喜びのある生活作りを支援している。ハロウィンで皆が仮装し、共に笑い楽しんだり、駐車場でのバーベキューでは普段は余り食べない利用者が焼き鳥を頬張る等、活気が見られる取り組みとなっている。面会についてもタブレットを活用した面会よりも家族が希望する窓越し面会で本人が直接見られる様、思いに沿った支援をしている。

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念が実践出来るように 事業所で年間の目標を立て達成出来るようにしている。また「生活作り10ヶ条」を柱に日々利用者様の「その人らしい生活」本人が望まれる生活に添えるように実践している。	法人理念のもとに事業所は年間目標の策定と定期的検証を行い、意識付けを図るためケア実践上の柱である生活作り10ヶ条の掲示や行動指針の4価値観を唱和している。又法人独自の目標等設定・評価書式で職員は年間目標を設定し、半期毎に管理者との個人面談でその達成度を検証している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的な交流としては、ホーム周辺を散歩する際、挨拶を交わすなど近隣住民とコミュニケーションを持つように努めている。また、以前は地域で行われる夏祭りやとんど等に利用者様と一緒に参加したり、グループホームで開くそうめん流しでは、地域の方に参加して頂き交流を深めていたが、コロナ禍により地域との交流が減っている現状にある。	現在はコロナ禍で近隣散歩等以外は自粛中だが、町内会に加入しており、年末の地域清掃に職員が協力したり、事業所の季刊誌を町内の回覧板や掲示板に載せ、地域交流を図っている。又、管理者が認知症サポーター養成講座の講師として企業・小学校に出向き啓発活動に協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期的にグループホームが発行している新聞を回覧板で回したり地域の看板に提示して取り組みや情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍になり、直接的な開催は出来ていない。以前は運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っていた。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討していた。	最近ではコロナ禍のため書面会議となり、家族代表・町内会会長等、町内会関係者・地域包括支援センター職員に会議資料を送付し意見の聴取をしている。参加できない家族と運営状況の共有や意見交換を図るため全員に議事録を送付している。意見から管理者が認知症講座に協力した経緯がある。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っている、また地域の回覧等で情報を得て地域の行事など参加するように努めている。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討している。	運営推進会議には地域包括支援センター職員が参加し情報共有を図っており、会議の開催報告書は市担当課に送付している。日頃から介護保険制度改正に伴う事務手続き等に関する相談・助言により協力を得ると共に行政主催の研修にもオンラインで参加して連携強化を図っている。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>法人内外の身体拘束に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い身体拘束防止に努めている。</p>	<p>隔月の身体拘束禁止委員会や法人研修部主催の年2回の研修会等を通し、職員は「拘束をしない」必要性を認識して具体的なケアの中で実践を重ねている。不適切なケアに対し職員間で注意し合える関係性もある。日中は玄関を施錠せず、玄関センサーによる見守りで対応している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>法人内外の虐待防止に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>内部・外部研修に参加することで知識を深め、資料の回覧および配布により、各職員が周知出来るように努めている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するように努めている。ご利用者及びご家族等からの不安や疑問点等は、可能な限り不安等を解消して頂けるように適切な説明に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>年に3回家族会を開催（開設よりの実績は現在1回）家族様の意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会等で来られた際に、意見等あれば都度対応している。コロナ禍で直接的な開催はできていないが家族会等で、アンケートを送付し意見や要望を伺い今後の運営に反映するように努めている。</p>	<p>コロナ禍で家族会は中止だが、アンケートを送付したり、面会・電話連絡等を介して家族の要望を把握し、申し送りノートや全体会議等で共有して迅速な対応に努めている。コロナ禍での職員に対する励ましの声が多いが、いつもの担当職員以外の職員の名前も知りたいとの要望に応えた例もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会議やリーダー会議等の会議を開き、意見交換の機会を確保している。</p>	<p>毎月の職員会議、毎日の申し送りや随時又は年2回職員との個別面談等を通し管理者は職員の意見を聞く機会を設け、業務上の提案等に対する支援体制を採っている。職員の提案で利用者の重度化に対し背もたれと座面の角度を調整できる車いすやクッション等、福祉用具の購入に繋げた例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>業務考課表や職務チェックリストによる各職員の個々の目標設定を行い、管理者面談にて習熟度の確認を定期的に行っている。個々の職員の評価制度を設け、年に2回実施し昇給等に反映している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>毎年の筆記試験を実施し各職員の介護知識及び技術の把握を行っている。また、定期的に内部・外部研修を実施し介護技術と認知症の知識の向上に努めている。外部研修については、研修補助費を利用できる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在コロナウイルス感染予防として開催出来てないが、町が主催する協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に出向き、情報交換により、連携を行っている。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションを重点に置いている。サービスを利用するにあたっての心情や意向等をお聴きするように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	サービス利用開始前に家族様から、御本人の情報収集を行い、積極的にサービスに対する思いや不安等ご要望を細かく伺い、ご本人やご家族との信頼関係を構築出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	面談や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今困っていることや必要な支援を把握し、ご本人にあったサービス利用の提供を支援出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	一方的なお世話をするという関係ではなく自立支援を念頭において「共に行う」という意識の下、支援を行っている。また、日常生活の中では家事等を一緒に行ったりしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	家族様来所時には、気軽に情報交換が出来、日頃の様子等もお伝えしながら、家族様から要望等を気軽に話して頂けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルス感染予防の為、直接接触は出来ないが、感染対策をした上で窓越しや踊り場での随時面会を受け入れている。	コロナ禍でも感染対策をして携帯電話を使用した窓越しや踊り場での面会等に対応している。又、電話・手紙のやり取りの他、利用者が載っている「ふれあい戸坂だより」、墓参り、受診、花見ドライブ等、馴染みの場所で馴染みの顔や声と何気ない日常を楽しめる様に支援している。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を配慮した席順にすることや職員が間に入り、利用者様同士での声の掛け合い、助け合いの関係づくりの為、遊びリレーションや体操や歌会等を通して関係づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が近所の方については、通りすがりに挨拶や、近況報告を受けたりといった交流がある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いなどを会話等の中で把握できるように努めている。 また家族様からも入居前の様子等希望を確認し、把握に努めている。	利用者の生活歴から馴染みのある事が不安なく継続できる様支援し、今出来る事に着目し出来て自信になる事を大切にしている。歌の好きな利用者には楽しめる様、朝の会でマイクを握ってもらい、意思表出困難な方も温かいタオルで清拭すると見える「いい顔」等、本人本位に対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人様や家族様からの聞き取りにより生活リズムや嗜好に関する事等の把握に努めている。 また、ライフストーリーシートを作成し生活してきた様子等を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行っている。 また、身体、心身の状態も観察し、現状の把握に努めている。必要事項はケア記録アプリ(Iパッド)に記録し、情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月一回モニタリングを行い、家族様から意見や意向等を伺い、家族様の意見を反映しつつ職員で見直し、検討を行っている。また、体調の急激な変化等あった場合は随時見直しを行っている。</p>	<p>利用者毎の担当職員が毎月のモニタリングで担当利用者の状況や気づきを計画担当者に報告し集約している。計画の見直しは基本的に三か月毎に行い、馴染みのある事が不安なく継続できる様支援している。散歩が日課だった利用者にコロナ禍では歌いながら廊下歩き3周を立案した例がある。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケア記録アプリに記録し、さらに気をつけたい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師や看護師と連携し、必要に応じて支援しているが、その人の状況に応じて訪問歯科や訪問リハビリとの連携をとっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の医療、消防、警察との連携を図り、安全で快適な暮らしが出来るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人やご家族の希望を第一に治療方針等を決定し、スムーズな受診が出来るように家族様と情報交換を行っている。</p>	<p>利用開始前の主治医の受診継続も可能だが、全利用者は協力医を主治医とし、母体協力医から月2回、協力歯科医から週1回の訪問診療を受けている。皮膚科の往診の他、専門医の受診は主に事業所が行っている。法人内外の訪問看護との連携もあり、適切な医療を受けられる体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	法人内外の訪問看護師が随時訪問し、状態観察を行っている。また、治療やケアの助言や指導を適宜行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	当事業所は医療法人グループの一員であり、退院時の医療機関との協働が行えている。また、近隣の入院応需の病院とも医療連携の書面を交わしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期ケアについては「看取りに関する指針」の記載内容に基づき、体制は整っている。入居時にも看取りについての説明を行っている。	要望があれば看取りを行っている。利用開始時に重度化した場合の対応及び看取りに関する指針を説明し了承を得ている。重度化した際には家族・医師等で話し合いを行い、指針に基づき適切な支援を行う方針である。法人内での終末期ケア研修実施や担当者会議で振り返りも行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	法人内研修等で緊急時の対応等を学ぶ機会を設けている。実践力においては、経験の浅い職員もいる為、今後更に取り組む必要がある。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力的体制を築いている。	現在年に二回の避難訓練を実施している。新型コロナウイルス感染症5類移行のため、緩和されている。近隣との非難訓練を実施出来るように検討している。	消防署の立ち会いを含め、年2回の避難訓練を夜間想定、利用者参加を含め実施している。減災対策として事業所の広い駐車場を活用して地域との災害時相互支援体制作りを進めていきたい意向もある。三日分の備蓄整備の他、BCP（業務継続計画）策定も完了し、机上訓練も実施している。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員が心掛けているつもりだが、言葉かけにおいて、馴れ合いになっている現状がある。プライバシーにおいても利用者様の排泄状況等他利用者様の前で行っているときがある。	研修で職員の幅広い知識習得と資質向上を図っている。尊厳に配慮してケアに関わり、利用者への言葉かけも不適切な対応にはその場で気づきを促すが、職員間で話しやすい雰囲気作りに取り組んでいる。又、車いすがトイレからはみ出す場合は、カーテンで覆えるように配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	全職員が心掛けているつもりだが、時に介護者本位になっていることもある。今後もっと自己決定が尊重できるように協議していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の利用者様の状況や状態や希望に沿ったケアが出来るように柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に本人様の好みの衣類や、以前から好んで着ていた衣類等を持ってきて頂き、その日着たい服を本人様より選んで頂くように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については毎食メニューが決まっている為盛り付け、配膳、下膳、片づけ等出来る範囲で一緒に行う事もある。	外部業者の献立により調理された副食の食材を事業所で加熱している。食が楽しみとなる様、駐車場でバーベキューや屋内でのソーメン流しを企画したり、菜園野菜が食卓に上ることもある。利用者にも盛り付け等の役割を担ってもらっている。又、食事環境面にも個別的に配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事については毎食メニューが決まっているが栄養バランスは考えられている。糖尿病等の医療的な理由がないかぎり入居前から好んで食べたり飲んだりしていた物を家族様より持って来て頂き、提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施している。訪問歯科の受診が必要な方は、その都度受診して頂き、歯科医師より指導を受けている。また、口腔ケアに係る技術的助言及び指導記録を使用し、技術面等を学んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで気持ちよく排泄して頂けるように、利用者様個々にあった排泄介助を検討し、支援を行っている。</p>	<p>一日の水分摂取量も入力したケア記録詳細等で排泄パターンを把握している。又特殊な手すりを設置し便座に座って、倒した手すりに寄りかかり腹部に力を入れ自力で排便し易くしたり、夜間にポータブルトイレや人感センサーを設置する等、利用者の状態に応じた排泄の自立支援を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食材への配慮を日々心掛けて、自然排便が出るように留意している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の中で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、ご利用者様の要望を聴くように努めている。個々人のその日の体調を見ながら、優先的に入って頂くようにしている。また、ハード面の工夫を行い、負担なく入浴して頂けるように配慮している。</p>	<p>週2～3回の入浴を基本とするが、利用者の体調や入浴習慣に合わせ、好みの入浴温度・時間やシャワー浴・足浴で対応する等、柔軟に関わっている。浴槽に移乗し易い可動式入浴台を設置したり、法人内の独自の研修体制で入浴介助力を高める等、物的・人的な環境整備に努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる。</p>	その日の体調に応じていつでも休息出 来るように配慮している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理解 しており、服薬の支援と症状の変化 の確認に努めている。</p>	各利用者様の服薬リストは、全職員が いつでも確認できる場所に保管して いる。症状の変化等が見られた場合 には、速やかに医師や看護師に連 絡を行っている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ご せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている。</p>	ドライブ、外でおやつを食べる等可能 な限り戸外に出る事を心掛け、気 分転換をしているが、コロナ禍で 以前よりも閉じこもりがちになり ている現状がある。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している。</p>	日々の散歩やドライブ等本人の希望 を伺い、その日の体調等を考慮し ながらお誘いしている。コロナ禍 により外出行事等が少なく、室内 で行うことが多い。	現在はコロナ禍で例年の外出行事 等は自粛中だが、近隣散歩や菜園 の水やり・収穫や季節・天候が良 ければ玄関先でおやつを楽しめる 様工夫をしている。家族の協力を 得て誕生日に外食をしたり、花見 ドライブ等、普段は行けないような 所へ外出し、「非日常」を楽しむこ ともある。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る。</p>	基本的に個人のお金は預かってい ないが、本人様が望まれる購入物 で希望に沿うものがあれば、家 族様に相談した上で「個人立替」 という形で対応している。		

自己評価	外部評価	項目(I)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話の取り次ぎや、御本人の携帯を使用して家族に連絡する等の支援している。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	室内に、温度・湿度計を設置し管理している。快適に過ごして頂けるように環境づくりを行っている。リビングや玄関等には季節の花を飾ったり、装飾を行い季節感を出すように工夫している。	フロアには会話の糸口にもなる様、利用者の作品や職員と作った季節の飾りつけを掲示している。食堂には配置を変えられる6角テーブルと2cmずつ高さの異なる3種類の椅子、浴室には可動式入浴台、トイレにも特殊な手すりを設置する等、自立支援に資する環境を整備している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	共用スペースにはテレビがあり、食卓用の椅子に加えてソファがある。その時々に合わせて過ごしやすい場所で過ごして頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の際には本人様の使い慣れた家具等を持ってきて頂いている。可能な限りご自宅に近い環境にすることで居心地よく過ごせるように配慮している。	居室にはベッド・エアコン等が備え付けられ、家具等、使い慣れた物や自作の人形等、好みの物を持ち込み居心地よく過ごせる様にしている。ベッドから居室扉までの導線確保のため物の配置を変える等工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	トイレや居室の位置が分かるように、目線の高さに合わせたり、大きく看板や目印をつけている。		

V アウトカム項目(I) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	法人の理念が実践出来るように、事業所で年間の目標を立て達成出来るようにしている。また「生活作り10ヶ条」を柱に日々利用者様の「その人らしい生活」本人が望まれる生活に添えるように実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的な交流としては、ホーム周辺を散歩する際、挨拶を交わすなど近隣住民とコミュニケーションを持つように努めている。また、以前は地域で行われる夏祭りやとんど等に利用者様と一緒に参加したり、グループホームで開くそうめん流しでは、地域の方に参加して頂き交流を深めていたが、コロナ禍により地域との交流が減っている現状にある。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	定期的にグループホームが発行している新聞を回覧板で回したり地域の看板に提示して取り組みや情報を発信している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍になり、直接的な開催は出来ていない。以前は運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っていた。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討していた。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営推進会議などで施設での状況を話したり情報交換を行っている、また地域の回覧等で情報を得て地域の行事など参加するように努めている。災害等の応援を踏まえて合同の避難訓練を検討している。		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内外の身体拘束に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い身体拘束防止に努めている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	法人内外の虐待防止に関する研修に参加する事で理解を深めると共に、事業所においては、委員会を設置し、2カ月に1回職員と共に日々のケアについて話し合い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部・外部研修に参加することで智識を深め、資料の回覧および配布により、各職員が周知出来るように努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書および契約書を提示し、具体的に説明するように努めている。ご利用者及びご家族等からの不安や疑問点等は、可能な限り不安等を解消して頂けるように適切な説明に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年に3回家族会を開催（開設よりの実績は現在1回）家族様の意見を伺う機会を設けると共に、普段より面会等で来られた際に、意見等あれば都度対応している。コロナ禍で直接的な開催はできていないが家族会等で、アンケートを送付し意見や要望を伺い今後の運営に反映するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全体会議やリーダー会議等の会議を開き、意見交換の機会を確保している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	業務考課表や職務チェックリストによる各職員の個々の目標設定を行い、管理者面談にて習熟度の確認を定期的に行っている。個々の職員の評価制度を設け、年に2回実施し昇給等に反映している。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	毎年の筆記試験を実施し各職員の介護知識及び技術の把握を行っている。また、定期的に内部・外部研修を実施し介護技術と認知症の知識の向上に努めている。外部研修については、研修補助費を利用できる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現在コロナウイルス感染予防として開催出来てないが、町が主催する協議会への出席や、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等に出向き、情報交換により、連携を行っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	初回面接時には、ご本人とのコミュニケーションを重点に置いている。サービスを利用するにあたっての心情や意向等をお聴きするように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用開始前に家族様から、御本人の情報収集を行い、積極的にサービスに対する思いや不安等ご要望を細かく伺い、ご本人やご家族との信頼関係を構築出来るように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>面談や電話にての相談時には、ご本人やご家族等に今困っていることや必要な支援を把握し、ご本人にあったサービスの提供を支援出来るように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一方的なお世話をするという関係ではなく自立支援を念頭において「共に行う」と言う意識の下、支援を行っている。また、日常生活の中では家事等を一緒に行ったりしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族様来所時には、気軽に情報交換が出来、日頃の様子等もお伝えしながら、家族様から要望等を気軽に話して頂けるように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>コロナウイルス感染予防の為、直接接触は出来ないが、感染対策をした上で窓越しや踊り場での随時面会を受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	関係性を配慮した席順にすることや職員が間に入り、利用者様同士での声の掛け合い、助け合いの関係づくりの為、遊びリテーションや体操や歌会等を通して関係づくりを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご家族が近所の方については、通りに挨拶や、近況報告を受けたりといった交流がある。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の思いなどを会話等の中で把握できるように努めている。また家族様からも入居前の様子等希望を確認し、把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	本人様や家族様からの聞き取りにより生活リズムや嗜好に関する事等の把握に努めている。また、ライフストーリーシートを作成し生活してきた様子等を収集している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日のバイタルチェックを行っている。また、身体、心身の状態も観察し、現状の把握に努めている。必要事項はしケア記録アプリ(Iパッド)に記録し、情報共有している。		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>毎月一回モニタリングを行い、家族様から意見や意向等を伺い、家族様の意見を反映しつつ職員で見直し、検討を行っている。また、体調の急激な変化等あった場合は随時見直しを行っている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ケア記録アプリに記録し、さらに気をつけたい点等を申し送りノートに記入し、全職員で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>医師や看護師と連携し、必要に応じて支援しているが、その人の状況に応じて訪問歯科や訪問リハビリとの連携をとっている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>周辺の医療、消防、警察との連携を図り、安全で快適な暮らしが出来るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>主治医はご本人やご家族の希望を第一に治療方針等を決定し、スムーズな受診が出来るように家族様と情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>法人内外の訪問看護師が随時訪問し、状態観察を行っている。また、治療やケアの助言や指導を適宜行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>当事業所は医療法人グループの一員であり、退院時の医療機関との協働が行えている。また、近隣の入院応需の病院とも医療連携の書面を交わしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>終末期ケアについては「看取りに関する指針」の記載内容に基づき、体制は整っている。入居時にも看取りについての説明を行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>法人内研修等で緊急時の対応等を学ぶ機会を設けている。実践力においては、経験の浅い職員もいる為、今後更に取り組む必要がある。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>現在年に二回の避難訓練を実施している。コロナウイルス感染症5類移行のため、緩和されている。近隣との非難訓練を実施出来るように検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	全職員が心掛けているつもりだが、言葉かけにおいて、馴れ合いになっている現状がある。プライバシーにおいても利用者様の排泄状況等他利用者様の前で行っているときがある。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	全職員が心掛けているつもりだが、時に介護者本位になっていることもある。今後もっと自己決定が尊重できるように協議していく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一日のスケジュールにケアを合わせるのではなく、その日の利用者様の状況や状態や希望に沿ったケアが出来るように柔軟な対応を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	家族様に本人様の好みの衣類や、以前から好んで着ていた衣類等を持ってきて頂き、その日着たい服を本人様より選んで頂くように努めている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事については毎食メニューが決まっている為盛り付け、配膳、下膳、片づけ等出来る範囲で一緒に行う事あり。		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事については毎食メニューが決まっているが栄養バランスは考えられている。糖尿病等の医療的な理由がないがぎり居前から好んで食べたり飲んだりしていた物を家族様より持って来て頂き、提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後の口腔ケアを実施している。訪問歯科の受診が必要な方は、その都度受診して頂き、歯科医師より指導を受けている。また、口腔ケアに係る技術的助言及び指導記録を使用し、技術面等を学んでいる。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>トイレで気持ちよく排泄して頂けるように、利用者様個々にあった排泄介助を検討し、支援を行っている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>適切な水分摂取、適度な運動、食材への配慮を日々心掛けて、自然排便が出るように留意している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>可能な限り、ご利用者様の要望を聴くように努めている。個々人のその日の体調を見ながら、優先的に入って頂くようにしている。また、ハード面の工夫を行い、負担なく入浴して頂けるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(Ⅱ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している。	その日の体調に応じていつでも 休息出来るように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。	各利用者様の服薬リストは、全 職員がいつでも確認できる場 所に保管している。症状の変 化等が見られた場合には、速 やかに医師や看護師に連絡を 行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を 過ごすように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、 嗜好品、楽しみごと、気分 転換等の支援をしている。	ドライブ、外でおやつを食べる 等可能な限り戸外に出る事を 心掛け、気分転換をしている が、コロナ禍で以前よりも閉 こもりがちになっている現状 がある。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるように支 援している。	日々の散歩やドライブ等本人 の希望を伺い、その日の体 調等を考慮しながらお誘い している。コロナ禍により 外出行事等が少なく、室内 で行うことが多い。		
50		○お金の所持や使うことの 支援 職員は、本人がお金を持つ ことの大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応 じて、お金を所持したり使 えるように支援している。	基本的に個人のお金は預か っていないが、本人様が望 まれる購入物で希望に沿 うものがあれば、家族様に 相談した上で「個人立替」と いう形で対応している。		

自己評価	外部評価	項目(II)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>電話の取り次ぎや、御本人の携帯を使用して家族に連絡する等の支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内に、温度・湿度計を設置し管理している。快適に過ごして頂けるように環境づくりを行っている。リビングや玄関等には季節の花を飾ったり、装飾を行い季節感を出すように工夫している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用スペースにはテレビがあり、食卓用の椅子に加えてソファがある。その時々に合わせて過ごしやすい場所で過ごして頂いている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居の際には本人様の使いなれた家具等を持ってきて頂いている。可能な限りご自宅に近い環境にすることで居心地よく過ごせるように配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室の位置が分かるように、目線の高さに合わせたり、大きく看板や目印をつけている。</p>		

V アウトカム項目(II) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい戸坂

作成日 令和5年9月3日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加者を増やして行くこと。	新たな参加メンバーが増えること事業所全体で地域との関わりが増えている。	コロナ感染予防しながら地域の行事に参加する。地域貢献のため地域包括等の活動に積極的に参加する。	1年
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。